

世界貿易投資動向シリーズ

イタリア

2020年11月25日
海外調査部・ミラノ事務所

2019年のイタリアの輸出は、医薬品が全体を牽引し前年比2.3%増となった。輸入においても医薬品の伸長がみられたが、全体としては前年比横ばいとなった。直接投資は対外・対内ともに前年から減少した。日本との関係においては、対日輸出が19.7%増と大きく伸び、8年連続の黒字となった。

■医薬品輸出が引き続き堅調

イタリアの2019年の輸出は、前年比2.3%増の4,758億4,800万ユーロとなった。輸入は4,229億1,400万ユーロと、前年比横ばいの0.7%減だった。

輸出を品目別にみると、前年比マイナスの項目が多くみられる。一方、医薬品（構成比6.8%）が前年比25.6%増と、全体を大きく牽引した。イタリア医薬品協会（FARMINDUSTRIA）によると、イタリアでは外資系企業、特に米国やドイツ資本の医薬品企業の存在が大きく、これらが輸出で重要な役割を果たしているという。そのほか、食品・飲料・たばこ（7.9%）が6.6%増と顕著な増加を示した。中でも、蒸留酒・混成酒など（0.3%）が26.5%増の12億3,600万ユーロ、たばこ（0.3%）が約2倍の12億9,100万ユーロだった。

表1 イタリアの品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械	82,280	81,829	17.2	△0.5	31,300	31,102	7.4	△0.6
繊維・衣料品・皮革製品	53,189	56,484	11.9	6.2	32,500	32,955	7.8	1.4
金属製品	50,088	50,937	10.7	1.7	45,148	44,516	10.5	△1.4
輸送機器	51,573	50,008	10.5	△3.0	49,977	49,745	11.8	△0.5
食品・飲料・たばこ	35,474	37,810	7.9	6.6	30,322	30,371	7.2	0.2
医薬品	25,923	32,570	6.8	25.6	26,539	28,960	6.8	9.1
化学品	31,282	30,551	6.4	△2.3	39,454	38,109	9.0	△3.4
その他製造業の製品	26,456	27,277	5.7	3.1	14,307	14,677	3.5	2.6
ゴム・プラスチック・非金属鉱物製品	27,277	27,106	5.7	△0.6	14,821	15,051	3.6	1.6
電気機器	24,249	23,600	5.0	△2.7	18,012	18,211	4.3	1.1
コンピューター・電子・光学機器	15,597	15,447	3.2	△1.0	28,062	27,799	6.6	△0.9
燃料・石油精製品	14,659	13,103	2.8	△10.6	9,899	8,868	2.1	△10.4
木材・木工品・紙製品・印刷物	8,966	8,714	1.8	△2.8	11,374	10,839	2.6	△4.7
農林水産物	6,876	6,769	1.4	△1.6	14,495	15,087	3.6	4.1
鉱物・石油・天然ガス	1,174	943	0.2	△19.7	46,728	43,361	10.3	△7.2
合計（その他含む）	465,325	475,848	100.0	2.3	426,046	422,914	100.0	△0.7

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] イタリア国家統計局 (ISTAT)

国・地域別にみると、まずEU全体（構成比55.9%）向けは、前年比1.1%増となった。うちユーロ圏では、最大の輸出相手国のドイツ（12.2%）が0.1%減と、前年並みだった。医薬品が27.2%増と伸びた。ただし、金属部品が5.1%減、電気機器が5.7%減となり、医薬品の増加を相殺した。フランス（10.5%）は2.4%増。燃料・石油精製品、医薬品などが増えた。構成比率の大きい輸送機器は、4.2%

減だった。二輪・三輪車が15.6%増と伸びたが、自動車が1.8%減とマイナスに転じたことによる。EUの非ユーロ圏では、英国(5.2%)が医薬品や繊維・衣料品・皮革製品、金属部品の増加が牽引し、全体で4.7%増となった。輸出額が最も大きい輸送機器が2.1%増、自動車は0.3%増と伸び悩んだ。一方で、航空機・宇宙船および関連装置が9.3%増だった。

EU域外では、米国(9.6%)が7.5%増。医薬品が57.1%増と大きく伸びたほか、その他食品・飲料・たばこも11.1%増だった。一方、輸出額で最大の輸送機器は、5.1%減と振るわなかった。アジア大洋州向け(10.5%)は、3.8%増と伸びた。しかし、同地域最大の輸出先の中国(2.7%)が1.0%減と、引き続き減少した。金額の大きい繊維・衣料品・皮革製品が3.4%増、医薬品も19.8%増と上向いた。しかし、中国の自動車市場の減速を受け、輸送機器が20.3%減と全体を押し下げた。金額こそ小さいが、農林水産品は55.2%と大きく伸び

た。インド(0.8%、依然として実額では小さい)は、1.1%増だった。インド向けも農林水産物は約3.2倍と、大きく増加した。スイス(5.5%)は、16.6%増だった。輸出金額の約3割を占める繊維・衣料品・皮革製品が旅行用品の増加を受け、55.4%増。その他、貴金属の世界的な価格高騰を受け、貴金属・半加工金属も2倍を超える大幅な伸びをみせた。ロシア(1.7%)も、4.6%増と伸びた。医薬品が2.2

表2 イタリアの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	263,081	266,007	55.9	1.1	250,718	250,677	59.3	△0.0
ユーロ圏	191,674	193,283	40.6	0.8	198,917	199,698	47.2	0.4
ドイツ	58,179	58,113	12.2	△0.1	70,193	69,611	16.5	△0.8
フランス	48,655	49,824	10.5	2.4	36,626	36,629	8.7	0.0
スペイン	24,200	24,027	5.0	△0.7	20,759	21,443	5.1	3.3
オランダ	11,661	11,840	2.5	1.5	22,693	23,009	5.4	1.4
ベルギー	13,304	14,062	3.0	5.7	19,289	19,479	4.6	1.0
非ユーロ圏	70,064	71,064	14.9	1.4	51,588	50,569	12.0	△2.0
英国	23,798	24,915	5.2	4.7	11,265	10,653	2.5	△5.4
ポーランド	13,617	13,286	2.8	△2.4	9,787	9,997	2.4	2.2
ルーマニア	7,762	7,546	1.6	△2.8	7,264	7,210	1.7	△0.8
チェコ	6,452	6,470	1.4	0.3	6,741	6,804	1.6	0.9
ハンガリー	4,954	4,821	1.0	△2.7	5,261	5,004	1.2	△4.9
スウェーデン	4,881	4,998	1.1	2.4	4,460	4,327	1.0	△3.0
デンマーク	2,945	2,907	0.6	△1.3	2,568	2,582	0.6	0.5
ブルガリア	2,442	2,434	0.5	△0.3	2,424	2,143	0.5	△11.6
クロアチア	3,215	3,686	0.8	14.7	1,818	1,848	0.4	1.7
スイス	22,328	26,028	5.5	16.6	10,961	10,943	2.6	△0.2
トルコ	8,780	8,334	1.8	△5.1	9,039	9,459	2.2	4.6
ロシア	7,567	7,918	1.7	4.6	14,970	14,324	3.4	△4.3
アジア大洋州	48,089	49,937	10.5	3.8	55,782	56,802	13.4	1.8
中国	13,127	12,993	2.7	△1.0	30,889	31,665	7.5	2.5
ASEAN	8,032	8,550	1.8	6.4	8,318	9,100	2.2	9.4
日本	6,465	7,740	1.6	19.7	3,764	4,116	1.0	9.4
香港	5,970	5,757	1.2	△3.6	304	333	0.1	9.5
韓国	4,560	4,869	1.0	6.8	4,058	3,734	0.9	△8.0
オーストラリア	4,004	4,010	0.8	0.1	590	508	0.1	△13.8
インド	3,957	4,001	0.8	1.1	5,536	5,155	1.2	△6.9
台湾	1,423	1,449	0.3	1.8	2,097	1,989	0.5	△5.1
ニュージーランド	552	571	0.1	3.5	227	202	0.0	△11.2
北米	50,811	53,984	11.3	6.2	18,397	19,830	4.7	7.8
米国	42,406	45,584	9.6	7.5	15,958	16,999	4.0	6.5
カナダ	4,111	4,500	0.9	9.5	1,510	1,748	0.4	15.8
中東	18,139	17,527	3.7	△3.4	21,885	17,161	4.1	△21.6
アラブ首長国連邦	4,579	4,577	1.0	△0.0	1,143	908	0.2	△20.6
サウジアラビア	3,092	3,279	0.7	6.0	5,139	3,796	0.9	△26.1
イラン	1,684	824	0.2	△51.1	2,925	152	0.0	△94.8
アフリカ	18,012	17,315	3.6	△3.9	22,017	21,450	5.1	△2.6
アルジェリア	3,089	2,921	0.6	△5.4	5,717	4,341	1.0	△24.1
中南米	14,340	13,929	2.9	△2.9	9,185	9,566	2.3	4.1
合計(その他を含む)	465,325	475,848	100.0	2.3	426,046	422,914	100.0	△0.7

〔注〕①アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。

北米は米国、カナダ、メキシコの3カ国の合計値。

②ユーロ圏と非ユーロ圏の合計がEUと合致しないのは統計上どの国にも分類できない誤差脱漏が含まれていないため。

③EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕イタリア国家統計局 (ISTAT)

倍と大きく増えたほか、最も金額の大きい機械で8.1%増だった。イラン向け(0.2%)は、51.1%減と大幅に減少した。

■輸入は前年並み、主要国とも大きな変化なし

輸入額は4,229億1,400万ユーロ。前年比0.7%減の横ばいだった。品目別では、鉱物・石油・天然ガス(構成比10.3%)が7.2%減、化学品(9.0%)が3.4%減となった。最大の輸入品目の輸送機器(11.8%)は0.5%減とわずかに減少した。一方、医薬品(6.8%)は9.1%増と伸長した。

国・地域別にみると、EU全体(構成比59.3%)で前年比横ばいだった。最大の輸入相手国のドイツ(16.5%)は0.8%減と前年並みだった。スペイン(5.1%)は3.3%増、最大輸入品目の輸送機器が4.6%減となった。船舶用の金属・非金属構造物が15倍と大きく伸びたものの、自動車の3.1%減が響いた。一方、金属製品の12.3%増が牽引し、輸送機器の減少を打ち消した。英国(2.5%)からの輸入は5.4%の減少が目立った。主な要因としては、医薬品の44.2%減、輸送機器の5.9%減などが挙げられる。

EU域外からは、中国(7.5%)が2.5%増。機械が5.1%伸びた。また、主要品目の繊維・衣料品・皮革製品が1.9%増だった。米国(4.0%)は、6.5%増だった。医薬品が15.7%増えたほか、金属製品、特に、価格高騰が目立った貴金属・半加工金属が81.5%増と大きく寄与した。カナダ(0.4%)は15.8%増。穀物(コメを除く)が2.2倍、航空機・宇宙船および関連装置が15.2%増などと伸びた。EUカナダ包括的経済貿易協定(CETA)が2017年9月の暫定適用開始から3年目を迎えており、それによる関税率の撤廃・低減が、輸入増を後押ししたものとみられる。イラン(0.04%)からは94.8%減と大幅に減少した。2018年に輸入の9割近くを占めていた鉱物・石油・天然ガスが99.7%減と大きく落ち込んだ。中でも原油は、ゼロとなった。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種制限措置により、2020年の輸出入は既に大きな打撃を受けている。イタリア国内および主要貿易相手国での人の移動制限や、国内の生産活動の一部停止などの影響を受け、3~5月はその前の3カ月(2019年12月~2020年2月)と比較して、輸出は31.5%減、輸入は26.9%減となっている。

■日系企業による大型買収も

イタリア銀行によると、2019年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)は、前年から23.1%減少して260億5,600万ユーロとなった。

グリーンフィールド投資では、スウェーデンの家電メーカー、エレクトロラックスは2019年7月、北部ベネト州に冷蔵庫の製造を行う工場を設立することを発表した。1億3,000万ユーロを投じ、特にビルトイン型冷蔵機器の製造ラインを立ち上げ、競争力向上を目指す。また、オランダのEコマース向け物流企業であるセールサプライが6月に物流拠点の設立を発表した。2020年に入ると、米国のバンテージ・データ・センターズが2月に、ミラノに32MW規模の大型データセンターを設立すると発表した。また、アマゾンによる物流設備への投資が引き続き活発だった。同社はこれまでもイタリア国内における物流ネットワークを拡充すべく、物流拠点への投資を続けてきたが、新たに北部ベネト州および中部ラツィオ州の2カ所に配送センターを設立することを2月に発表。投資額は1億4,000万

ユーロで、2020年末までに稼働開始予定。3年以内に新たに1,400人の雇用を創出するとしている。

M&A案件では、英国のリバティ・スチールが、欧州7カ国におけるアルセロール・ミッタルの鉄鋼事業を2019年7月に買収した。投資額は7億4,000万ユーロに上る。7カ国のうち1カ国がイタリアで、アルセロール・ミッタル・ピオンビーノがリバティ・スチールの傘下に入るかたちとなった。また、ルクセンブルクの投資会社アルファが4月にセラミック製造のラミナムの買収に合意したことを発表した。

イタリア銀行によると、2019年の対外直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は、前年比27.0%減の245億9,600万ユーロとなった。

同年は、エネルギー関連の案件が際立った。エネルギー開発エニは11月、子会社を通じて、パキスタンに太陽光発電所を設立したことを発表した。国外に対する大型出資案件においても、同じくエニがアブダビ国営石油会社（ADNOC）より、同社傘下のADNOCリファイニング（石油精製）の株式20%を取得した事例などが挙げられる。

表3 イタリアの国・地域別対内・対外直接投資〈国際収支ベース、ネット、フロー〉

(単位：100万ユーロ、%)

	対内投資			対外投資		
	2018年	2019年		2018年	2019年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU	30,427	28,299	△7.0	19,378	9,864	△49.1
オランダ	4,296	13,157	206.3	3,191	△135	—
ルクセンブルク	△8,750	8,331	—	3,308	238	△92.8
ドイツ	3,141	3,923	24.9	2,590	958	△63.0
フランス	30,737	1,768	△94.2	3,185	1,402	△56.0
英国	3,540	1,647	△53.5	117	1,609	1,275.2
ポルトガル	22	74	236.4	188	188	0.0
スペイン	△637	△220	—	5,910	934	△84.2
オーストリア	532	△310	—	726	△389	—
ベルギー	△391	△580	—	△2,447	3,266	—
スイス	1,496	△54	—	376	158	△58.0
ロシア	△3	75	—	630	1,056	67.6
アフリカ	△110	△12	—	2,758	2,322	△15.8
アルジェリア	41	35	△14.6	881	726	△17.6
エジプト	10	34	240.0	579	576	△0.5
北米	△3	△558	—	4,794	1,944	△59.4
米国	136	△629	—	4,168	598	△85.7
メキシコ	△27	△4	—	293	374	27.6
南米	367	△3,167	—	510	1,931	278.6
ブラジル	38	△214	—	710	80	△88.7
アジア大洋州	1,150	1,286	11.8	3,090	1,600	△48.2
韓国	419	658	57.0	214	145	△32.2
香港	△44	282	—	△65	332	—
中国	820	183	△77.7	1,293	549	△57.5
日本	△125	95	—	△229	△9	—
中東	234	64	△72.6	1,484	1,989	34.0
トルコ	119	33	△72.3	581	67	△88.5
クウェート	20	31	55.0	251	165	△34.3
サウジアラビア	△47	19	—	△354	327	—
アラブ首長国連邦	△23	△16	—	858	714	△16.8
合計（その他含む）	33,874	26,056	△23.1	33,711	24,596	△27.0

[出所] イタリア銀行

表4 イタリアの主な対内直接投資案件（2019年～2020年2月）〈M&A以外〉

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
IT	バンテージ・データ・センターズ	米国	2020年2月	20億ドル (欧州の他地域への投資も含む)	イタリア北部のロンバルディア州のミラノに、ハイパースケールデータセンターを開設すると発表。
流通	アマゾン	米国	2020年2月	1億4,000万ユーロ	北部ベネト州、中部ラツィオ州の2カ所に配送センターを新たに設立することを発表。2020年末までに稼働開始予定。
機械	エレクトロラックス	スウェーデン	2019年7月	1億3,000万ユーロ	北部ベネト州に、冷蔵庫の生産ラインを設立することを発表。2022年に完成予定。
IT	フェニックスナップ	米国	2019年5月	非公表	北部ロンバルディア州にネットワーク拠点（PoP/Point of Presence）を開設したと発表。
物流	ロジスティクス・キャピタル・パートナーズ	英国	2019年5月	非公表	北部ピエモンテ州に、イタリア最大規模の物流ハブを設立すると発表。

[出所] 各社発表から作成

表5 イタリアの主な対内直接投資案件 (2019年) (M&A)

業種	被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍	国籍			
鉄鋼	アルセロール・ミッタル・ピオンビノー	リバティ・スチール	英国	英国	2019年7月	7億4,000万ユーロ (欧州の他地域への投資も含む)	鉄鋼の製造・流通を手がけるリバティ・スチールは、アルセロール・ミッタルの欧州の7カ国における鉄鋼事業の買収が完了したことを発表。イタリアに関しては製鉄所とサービスセンターが立地。
通信	イリアド・イタリア	セルネックス・テレコム	スペイン	スペイン	2019年5月	6億ユーロ	無線通信インフラの開発を手がけるセルネックス・テレコムは、イリアド・イタリアが持つ2,200カ所の基地局を買収すると発表。
機械	イグジーニ・イルミナツィオーネ	ファガーフルト	スウェーデン	スウェーデン	2019年3月	3億6,520万ユーロ	照明機器メーカーのファガーフルトが同業の買収を完了。製品ブランドを拡大させるとともに地理的にも販路拡大をねらう。
建材	ラミナム	アルファ・プライベート・エクイティ・ファンド7	ルクセンブルク	ルクセンブルク	2019年4月	非公表	ルクセンブルクの投資会社アルファ・プライベート・エクイティ・ファンド7が、大型セラミック板を製造するラミナムの買収に合意したと発表。
IT	カレイラ	ギグキャピタル	米国	米国	2019年11月	非公表	米国の投資会社ギグキャピタルが、クラウドサービスを展開するカレイラの買収を完了したと発表。

〔出所〕 各社発表から作成

■対日貿易ではワインなど食品の輸出が拡大

2019年の対日貿易は、輸出が前年比19.7%増の77億4,000万ユーロ、輸入が9.4%増の41億1,600万ユーロとなった。貿易収支は、36億2,400万ユーロの黒字だ。黒字は8年連続で計上したことになる。また黒字幅は、前年比で9億2,300万ユーロ増加した。

輸出を品目別にみると、食品・飲料・たばこ（構成比23.9%）が66.5%増と大幅な伸びを記録、全体を押し上げた。特にたばこは、3倍と飛躍的に増加。日本が最大の輸出先となっている。また、このカテゴリーの中で大きな金額を占めるワイン類（1.7%）も10.4%増。数量でも16.5%増加しており、2019年2月に発効した日EU経済連携協定（EPA）による関税撤廃の影響が表れたものとみられる。

そのほか、繊維・衣料品・皮革製品（24.7%）が8.8%増、輸送機器（15.6%）が14.9%増、医薬品（7.8%）が21.1%増と大きく伸びた。

輸入では、機械（27.2%）と輸送機器（30.4%）が、それぞれ8.0%増、5.3%増となった。機械の中では、その他内燃機関（3.9%）が19.2%増、輸送機器では、自動車（18.4%）が20.5%増と牽引した。また、医薬品（4.0%）が94.5%増と大きく伸びた。医薬品原料

表6 イタリアの対日主要品目別輸出入 (通関ベース)

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
繊維・衣料品・皮革製品	1,757	1,912	24.7	8.8	170	192	4.7	13.0
食品・飲料・たばこ	1,111	1,849	23.9	66.5	13	15	0.4	11.6
輸送機器	1,054	1,211	15.6	14.9	1,188	1,251	30.4	5.3
機械	720	706	9.1	△2.0	1,038	1,121	27.2	8.0
医薬品	497	602	7.8	21.1	86	167	4.0	94.5
化学品	393	419	5.4	6.7	411	407	9.9	△0.9
その他製造業の製品	296	347	4.5	17.2	158	184	4.5	16.7
コンピューター・電子・光学機器	228	210	2.7	△8.1	206	246	6.0	19.0
ゴム・プラスチック・非金属鉱物製品	139	142	1.8	2.5	166	170	4.1	2.1
電気機器	89	117	1.5	31.8	145	132	3.2	△9.1
金属製品	90	110	1.4	22.6	150	186	4.5	23.7
木材・木工品・紙製品・印刷物	23	46	0.6	99.3	16	19	0.5	18.8
農林水産物	30	33	0.4	9.3	5	6	0.1	16.5
鉱物・石油・天然ガス	3	3	0.0	0.9	2	1	0.0	△38.1
燃料・石油精製品	2	2	0.0	14.9	0	10	0.2	1986.0
合計 (その他含む)	6,465	7,740	100.0	19.7	3,764	4,116	100.0	9.4

〔出所〕 イタリア国家統計局 (ISTAT)

(0.6%) は前年比マイナスだったものの、医薬品・中間体 (3.5%) は2.5倍となった。食品・飲料・たばこ (0.4%) については、11.6%増と2桁増。中でも、肉 (鳥類以外)・各種畜産製品 (0.04%) が82.1%増などと伸長した。輸出と同様に輸入も、日EU・EPAの関税撤廃・低減が増加の一助になったとみられる。

2019年の日本からの直接投資受入額は9,500万ユーロだった。2019年に発表された日本企業のイタリアへの投資案件としては、三菱ケミカルが2019年7月、炭素繊維複合材料の生産設備を北部エミリア・ロマーニャ州に設立することを発表した。また、芝浦機械 (旧東芝機械) は9月、ミラノに販売・サービス拠点を開設したことを発表。設立の理由の一つとして、イタリアからの欧州各国へのアクセスの良さを挙げている。その他、ルックホールディングスは6月、イタリアの皮革製品ブランド、イル・ビゾンテを展開するビゾンテ・イタリア・ホールディングスを完全子会社化することを発表した。取得価格は約109億円。以前から同ブランドの独占輸入販売を行っていたが、子会社化により日本市場におけるさらなる売り上げ増を目指す。

2019年の日本への直接投資額は900万ユーロの引き上げ超過となった。2019年に発表された事例としては、自動車部品メーカーのアグラータが横浜に合同会社を設立。日本の自動車および自動車部品メーカーに対する市場シェアの拡大を目指す。

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：6,036万人 (2019年)			
②面積：30万2,073km ²			
③1人当たりGDP：3万3,190米ドル (2019年)			
④実質GDP成長率 (%)	1.7	0.8	0.3
⑤消費者物価上昇率 (%)	1.2	1.2	0.6
⑥失業率 (%)	11.2	10.6	10.0
⑦貿易収支 (100万ユーロ)	54,372	45,448	56,854
⑧経常収支 (100万ユーロ)	44,712	44,021	52,890
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	48,919	51,331	55,341
⑩対外債務残高 (グロス) (100万ユーロ)	2,121,055	2,133,633	2,229,541
⑪為替レート (1米ドルにつき、ユーロ、期中平均)	0.8852	0.8468	0.8933

〔注〕 ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：イタリア国家統計局 (ISTAT)、③：世界銀行、⑦⑧⑩：イタリア銀行 (中央銀行)、⑨⑪：IMF

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp